

NIFAアクションプラン2018→2022	全体	頁中の	頁
1. 現状の概要と今後の方向性		中越地区協会	委員会 連盟
<p>ビーチサッカーの普及活動が中期目標にあったが、全く活動が進まずに終わってしまった。女子、シニアの普及・登録チーム数を増やすという中期目標に対しても効果がなかった。これは当時の現状把握が上手くいかなかったのではないかと推測される。</p> <p>上記を踏まえ今後の方向性を考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>登録においては各カテゴリーの連携強化を進めていき、世代が変わるときに辞めてこぼれていく選手がなくなるように努める。</li> <li>2016年頃より新設した3種4種の中越地区独自の大会を継続することにより、年代間の連携を高めていく。</li> <li>環境整備においては、各自治体のグラウンド建設の情報をいち早くキャッチする事により、スムーズなグラウンド建設ができるようにサポートする。</li> <li>サッカーファミリーの増員は人口減少が進む中、現実的には難しいと考える。その中でも、当協会のできる施策で現状数維持を考えていく。</li> </ol>			

NIFAアクションプラン2018→2022	全体	頁中の	頁
2. 中期目標（2030年）		中越地区協会	委員会 連盟
<p>①地域の特性として、フットサルが盛んな地区だと考えます。新たにFリーグ加盟するという動きが出てくることを期待しながら動向を見守りたい。（具体的には現フットサル北信越リーグに加盟しているチームと連携して動いていければと思っています。）そのチームに地元から選手を送りだすには小学生年代からのフットサル強化には注視しなければいけないはず。10年以内にはフットサルの新規大会を創設するか、有効な育成方法に投資していきたい。</p> <p>②地域の協会と連携し、組織強化を図る。</p>			

NIFAアクションプラン2018→2022	全体	頁中の	頁
3. 長期目標（2050年）		中越地区協会	委員会 連盟
<p>①中越地区のフットサルチームをFリーグ加盟させ、中越地区よりフットサル日本代表を常時複数名の輩出している地域となる。</p> <p>②指導者・審判員の育成 サッカーのみならず、フットサルにおいても上級資格取得者を推進する。</p> <p>③環境整備 各地域に夜間照明付き人工芝グラウンドが1面以上整備される。 長岡市に代表戦・国際試合を誘致できるサッカー場を整備する。</p>			

NIFAアクションプラン2018→2022					全体 頁中の 頁 中越地区協会
4. 現状分析					
No. と 事項	2022年具体的目標	2018年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
1 強化	カテゴリーの連携強化	学校での指導者不足	30%	指導者の育成と派遣	外部コーチの招聘
1 強化	年代間の連携	カテゴリー毎で違う	30%	指導者の交流	指導者講習会
2 施設	環境整備	地区により未整備	40%	資金調達の難易差	補助金制度の活用
3 普及	サッカーファミリーの確保	年々減少	50%	人口減の歯止め	魅力あるサッカーをする 地域づくり
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2022年目標に向けての2018年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

5. 具体的アクション

委員会  
連盟  
中越地区協会

No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように
1 強化	2種	通年	現場 (サッカー・フットサル)	選手の情報	交換し合う
	3種	通年	現場 (サッカー・フットサル)	選手の情報	交換し合う
	3種	とうりんぼカップ	びあパーク	サッカー大会	継続して行う
2 施設	事務局	通年	需要のある地区	施設建設	情報を得る
	地域の協会	通年	需要のある地区	施設建設	情報を得る
3 普及	全カテゴリー	通年	サッカーをるところ	人口拡大	推進する
	キッズ	通年	地域のコミュニティがあるところ	サッカーを初めてする選手	包みこむ
4 育成	指導者	通年	キッズ教室	サッカーを初めてする選手に教えるスキルを持つ人材	育成する